

永大産業リアルフィニッシュ 455 石目調への施工トラブル

トラブル事例 フロアコーティング

問題

永大産業のリアルフィニッシュ 455 石目調にシリコンコーティングを施工した際、プライマーは問題なく塗布できましたが、トップコートを塗った時にプライマーが剥がれる現象が発生しました。アセトンで拭いたところプライマーも剥がれたため、剥離して施工不可と判断されました。

協会が指摘する主な要因



下地剤の乾燥不足

気温や湿度に応じた十分な乾燥時間の確保が必要



下処理不足 (研磨不足)

研磨痕が縦目と横目の両方向に入るよう、床材表面が粉で白くなるほどしっかりと傷を付けることが重要



溶剤の選択ミス

アセトンは溶解力が強すぎるため、下処理には和信 3000 シンナーの使用を推奨

1 事前調査

石目調シートなど特殊床材は試し塗り必須

2 下処理

和信 3000 シンナーで適切な下処理を実施

3 研磨作業

縦横両方向に十分な研磨痕をつける

4 試し塗り

目立たない箇所での密着性を確認

5 本施工

問題なければ本施工へ進む

重要な注意事項

一部の床材(シートフローリングタイプや表面加工された床材)ではプライマーを使用することで逆に密着性が低下することがあります。その場合は、Mシリコンコーティングのトップコートのみで仕上げる選択も検討してください。